つしまで働く先輩（建設業編）

株式会社　ハラダ
原田　暢弥さん

対馬市出身。38歳。対馬にUターンして11年。
・上対馬高校を卒業後、福岡の大学へ進学。
・建設関連会社で5年間の勤務を経て、対馬へUターン。

◆お勤めの会社を紹介してください！

株式会社ハラダは、平成14年度に設立した、社員35名の土木を主体とした建設会社です。対馬島内をメインに、港湾・海洋工事、道路改良工事や舗装工事、災害復旧工事などを行っています。

◆建設業のお仕事を選んだ理由はなんですか？

祖父の代から建設業を営んでおり、幼い頃からその中で育ってきました。

工事には、様々なものがあり、新しい港や道路造り、時には自然災害による被害を復旧したり等、従業員が一丸となって地域へ貢献している姿を見てきて、いずれは建設業で活躍したいと思うようになりました。

◆入社して経験した仕事・取り組んでいる仕事について教えてください！

現在の担当業務は、現場責任者として現場の管理を行っています。

内容は、担当した工事が工期内で円滑に進むよう、現場での作業指揮・発注者との打合せ・現場周辺住民との連絡調整等々です。また、建設業は工種によって必要な資格が多数あり、どんな工種の工事も携われるよう、資格取得や講習会の受講を積極的に取り組んでいます。

◆建設業のお仕事のどんなところにやりがいを感じていますか？

地域住民の方のストレスとなっていた部分の工事が完成し、より快適になったものを地域住民の方に提供できることです。

どの工事も決して簡単な内容ではなく、工事に必要な資材や機械の手配、それに関わる費用の計算から始まり、イレギュラーな問題も日々発生します。その中で、作業員の方・協力会社の方の手助けもあり、日々の作業の積み重ねで完成した工事は、達成感を感じる事が出来ます。

◆対馬にUターンしたきっかけはなんですか？

建設業を基本から学ぶため土木専攻の大学を卒業し、その後は建設業関連会社に勤めて、土木資材販売を通じて、多くの建設会社から建設業の仕組みを学びました。

そのうち、実際に現場に出て経験を増やすことで、より多くの知恵や技術を吸収できると確信し、また高齢化の進む地元の活性化につながればという思いから、20代のうちに対馬に戻ることを決意しました。

◆対馬に住むメリット・デメリットは？休日の過ごし方は？

学生時代から約10年近く島外で過ごしましたが、対馬に戻ってきて何よりも生活リズムが整いました。（笑）

私の住む地域では24時間営業のコンビニや夜遅くまで営業しているスーパー、飲食店もありません。逆に言えばそういった部分が不便さになるのかもしれませんが、ライフラインで困ったことはほとんどなく、いつの間にか早寝早起き、規則正しい生活が当たり前となりました。

休日は、友人と釣りに行ったり家族で買い物に出たり、友人家族と食事したり楽しい時間を過ごしています。

◆後輩へメッセージをお願いします！

帰ってくるまでは対馬は出かける場所も限られていて不便そうに感じていましたが、住めば都という風に、暮らしに困ることもなく充実した毎日を送っています。

建設業に興味がある方や意欲のある方、知識がなくても経験で学んでいけます。熟練者の技術を若いパワーで沢山吸収し、一緒に建設業を盛り上げていきましょう！！